

海外安全対策情報 平成25年度第3四半期(2013年10月～12月)

在スロベニア日本国大使館

1. 社会・治安情勢

長引く不況と国民の政治不信の高まりから、当国では2012年末から2013年はじめにかけ最大2万人規模の反政府・反政治エリートのデモが開催されたが、現在ではこうした抗議デモは沈静化し、国内の治安情勢は安定してきている。10月から12月の間では、同種のデモがリュブリャナ市内で1回のみ開催されたが、参加者は減少傾向にある。

これまで一般人が当該デモに巻き込まれた事案は把握されていないが、同様のデモは今後も起こりうる可能性はあり、注意の必要はある。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 国家警察当局が発表した2012年中の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪発生件数は89,236件と前年の88,722件からほぼ横ばいで推移した。一般犯罪・凶悪犯罪件数についても特段顕著な動きはなく、犯罪検挙率は47.6%(前年49.1%)であり、警察当局のパフォーマンスは比較的良好である。その一方、詐欺等の経済犯罪における被害額は約449.5万ユーロで前年比2.5倍と激増しており注意が必要である。

主な犯罪種別の内訳は以下のとおり。

スリ・置き引き等	30,956件(前年29,408件)
ひったくり	816件(同716件)
空き巣	13,759件(同13,363件)
自動車盗	520件(同522件)
殺人(過失致死含む)	44件(同50件)
強盗	471件(同483件)
強姦	58件(同55件)
誘拐	4件(同2件)
詐欺	3,304件(同2,894件)

(2) 邦人被害事案

ア. リュブリャナ市内において在留邦人所有の車両から発火する事案発生(被害は僅少であったが、警察捜査によると何者かによる放火である由) イ. リュブリャナ市内フィッシュマーケットにて、邦人旅行客がすり被害に遭遇(計2件:大使館届け出)。

(3) 邦人以外の被害事案

顕著な事案は把握されていない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

特段の事件発生は報告されていない。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人を含めた、身代金目的の誘拐・脅迫事件等の発生は報告されていない。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題

当国の対日感情は全般的に良好であり、日本企業の安全に関わる諸問題も聞かれない。

以上